

千葉大学医学部附属病院で TSH 産生下垂体腫瘍の評価のため入院された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年10月17日

糖尿病・代謝・内分泌内科

糖尿病・代謝・内分泌内科では、「TSH 産生下垂体神経内分泌腫瘍(TSH というホルモンを産生する下垂体腫瘍)における術前ソマトスタチンアナログ投与の評価」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2015年4月1日～2024年9月30日の間に糖尿病・代謝・内分泌内科で手術前にソマトスタチンアナログを投与された TSH 産生下垂体腫瘍の方

1. 研究課題名

「TSH 産生下垂体神経内分泌腫瘍における術前ソマトスタチンアナログ投与の評価」

2. 研究期間

委員会承認後から2026年3月31日まで

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

TSH 産生下垂体腫瘍患者様に対するソマトスタチンアナログの投与前後の有効となる患者の特徴を明らかにします。2015年から2024年の間において、診療録に記載されている投与前後の情報を解析します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、ホルモン値といった採血採尿結果、サン

ドスタチン負荷検査などにおける各種検査での TSH を含めた下垂体ホルモンの評価。ソマトスタチンアナログを投与に対する甲状腺ホルモンの反応率や合併症、MRI による腫瘍のサイズと性状、エコーや CT による全身の評価などの臨床像の変化を調べます。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：糖尿病・代謝・内分泌内科 鈴木 佐和子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。
情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

糖尿病・代謝・内分泌内科

医師 鈴木佐和子

043（222）7171 内線 5255